

令和6年度医学・生命科学セミナー

●会場・時間 : 第2講義室(医学教育図書棟3階) 17:30～

番号	実施日(予定)	講師氏名	演題	勤務先及び職名	世話講座
1	4月10日(水)	おかざき たく 岡崎 拓	Regulation of autoimmunity and anti-cancer immunity by immune checkpoint molecules	東京大学定量生命科学研究所 応用定量生命科学研究部門 分子免疫学研究分野/教授	感染免疫学
2	5月15日(水)	やなぎ しげる 柳 茂	Regulation of mitochondrial dynamics and quality control by ubiquitin signaling and related diseases	学習院大学 理学部 生命化学科 分子生化学/教授	分子遺伝学
3	6月26日(水)	てらくら せいたろう 寺倉 精太郎	Development of Eva1, a tumor-specific antigen, targeting chimeric antigen receptor T cells and insights from the development process.	名古屋大学医学部付属病院 血液内科/講師	造血・腫瘍制御学
4	7月17日(水)	やまもと やすひこ 山本 靖彦	Glycation: a novel outlook on life sciences	金沢大学 医薬保健研究域医学系 血管分子生物学/教授	生体微細構築学
5	7月31日(水)	ひしだ ともあき 菱田 友昭	The Future Prospects of Reprogramming Research	和歌山県立医科大学 薬学部/准教授	分子脳科学
6	9月4日(水)	あらい まこと 新井 誠	統合失調症とグリケーション*	東京都医学総合研究所 精神行動医学研究分野 副参事研究員/統合失調症プロジェクトリーダー	神経精神医学
7	9月11日(水)	おさか ひとし 小坂 仁	Toward the Treatment of Hereditary Neurological Diseases	自治医科大学 小児科学/教授	幹細胞誘導分野
8	11月13日(水)	はえの ひろし 波江野 洋	Mathematical analysis of cell dynamics in cancer.	東京理科大学 生命医科学研究所/准教授	幹細胞ストレス学
9	11月20日(水)	にしやま まさあき 西山 正章	Identification of neural circuits in autism using human animal models and their application to therapeutic development	金沢大学 医薬保健研究域医学系 組織細胞学/教授	分子薬理学
10	2月5日(水)	さかた まみこ 坂田 麻美子	Unraveling Microenvironmental Diversity of Blood Cancers through Multi-omics Approach	筑波大学・血液内科, トランスボーダー医学研究センター/教授	白血病転写制御学

注意: 3つのセミナーから8回以上聴講し、かつ、聴講したセミナー1回に関して、セミナー内容に関する1200～2000字程度のレポートを当該セミナーの世話講座の教授(代表者)に1ヶ月以内に E メールで提出してください。添付ファイルで提出する際には、受け取り側が開けない場合もありますので、メール本文中にも同じ内容を記載してください。なお、教員に提出するときは、必ず医学事務チーム教務担当(iyg-igaku-3@jim.kumamoto-u.ac.jp)宛にも送信してください。セミナーでは毎回、会場入口で出席を確認します。(カードリーダーを使用しますので必ず学生証を持参してください。)

※医学・生命科学セミナーは、英語で開催されます。

※第6回については、日本語での実施。

※詳細は、医学教育部HPの「大学院セミナー」のページを参照

令和6年度名医に学ぶセミナー

●会場・時間：第2講義室(医学教育図書棟3階) 17:30～

番号	実施日(予定)	講師氏名	演題	勤務先及び職名	世話講座
1	4月17日(水)	白石 賢二	牛心筋チトクローム酸化酵素中のプロトン移動機構の量子力学に基づく研究	名古屋大学 未来材料・システム研究所/教授	形態構築学
2	5月1日(水)	加来 浩器	新興再興感染症のリスク評価はいかに行うか？	防衛医科大学校 防衛医学研究センター 広域感染症疫学・制御研究部門/教授	幹細胞誘導分野
3	5月29日(水)	松田 文彦	※未定	京都大学大学院 医学研究科附属ゲノム医学センター 疾患ゲノム疫学分野/教授 ゲノム医学センター長	分子遺伝学
4	6月5日(水)	太田 博樹	古代ゲノム学を基礎としたヒト進化化学の展開	東京大学大学院 理学系研究科 生物科学専攻/教授	分子脳科学
5	6月12日(水)	清水 秀幸	データサイエンスが加速する創薬研究	東京医科歯科大学 M&Dデータ科学センター・AIシステム医科学分野/教授	分子薬理学
6	7月3日(水)	中島 振一郎	統合失調症をドーパミン仮説とグルタミン酸仮説から考える	慶応義塾大学 医学部 精神・神経科学教室/講師	神経精神医学
7	7月19日(金)	今井 千速	遺伝子改変T細胞/NK細胞による小児がん治療	富山大学 学術研究部医学系 小児科学講座/教授	造血・腫瘍制御学
8	7月26日(金)	松本 俊彦	人はなぜ依存症になるのか	国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 薬物依存研究部/薬物依存症センター 部長/センター長	生体微細構築学
9	9月18日(水)	越智 小枝	専門家が学ぶべきクライシス時のライフコミュニケーション:震災からコロナまで	東京慈恵会医科大学 臨床検査医学講座/教授	災害・救命医療学
10	10月9日(水)	安永 正浩	DDS・分子イメージング・細胞生物学を駆使した次世代抗体医薬の開発	国立研究開発法人国立がん研究センター 先端医療開発センター 新薬開発分野/分野長	幹細胞誘導分野
11	10月30日(水)	金田 篤志	エピゲノム異常の蓄積と発がんリスク	千葉大学大学院 医学研究院・分子腫瘍学/教授	白血病転写制御学

注意: 3つのセミナーから8回以上聴講し、かつ、聴講したセミナー1回に関して、セミナー内容に関する1200～2000字程度のレポートを当該セミナーの世話講座の教授(代表者)に1ヶ月以内に E メールで提出してください。添付ファイルで提出する際には、受け取り側が開けない場合もありますので、メール本文中にも同じ内容を記載してください。なお、教員に提出するときは、必ず医学事務チーム教務担当(ivy-igaku-3@jimu.kumamoto-u.ac.jp)宛にも送信してください。セミナーでは毎回、会場入口で出席を確認します。(カードリーダーを使用しますので必ず学生証を持参してください。)

※名医に学ぶセミナーは、日本語で開催されます。

※詳細は、医学教育部HPの「大学院セミナー」のページを参照

2024 年度国際先端医学セミナー

- 場所: 国際先端医学研究拠点施設1階ミーティングラウンジ(感染症対策のためオンラインセミナー)
- 時間: 16:30~(原則として水曜日開催。ただし、時間変更の可能性あります)

「D5 国際先端医学セミナー」は国際先端医学研究機構(IRCMS)に所属する研究者または共同研究者によって講義が行われます。講義は月1回、各研究分野を牽引する研究者により英語にて行われます。本講義では次のような主題について学びます。

1. 人体において正常な生理機能がどのように維持されているか
2. これらのシステムがある病的条件下でどのように制御異常(癌など)を起こすか
3. 幹細胞が動物の発達と恒常性にとっていかに大切なのか
4. 幹細胞ベースのアプローチがどのように病気のメカニズムを解明し、癌・老化等幹細胞の機能不全に関する疾患に対する治療法を見つけるのに役立つか

No	Schedule	Lecturer	Research Field/The title for the lecture	Title / Affiliation
1.		Robert SIGNER	HSC, proteostasis	Assistant Professor, University of California, San Diego, USA
2.	May	Yuta TAKAHASHI	methylation; inheritance	Associate Professor, IRCMS, Kumamoto University, Japan
3.	May	Robert STEPHENSON	Publishing	Senior Editor, PhD, Springer Nature
4.	June	Jianlong WANG	Epigenetics; Pluripotency	Professor of Medical Sciences in Medicine, Columbia University, USA
5.	July	Norika LIU	macrophage	Lecturer, IRCMS, Kumamoto University, Japan
6.	September	Michael MILSOM	Inflammation & aging	Head, Division of Experimental Hematology, German Cancer Research Center, Germany
7.	October	Ralf JAUCH	Molecular evolution	Associate Professor, School of Biomedical Sciences Hong Kong University, Hong Kong
8.	November	Seah Ling KUAN	Protein therapeutics	Group Leader, Max Planck Institute for Polymer Research, Germany
9.	December	Ryo YAMAMOTO	Non-human primate HSC	Associate Professor, ASHBi, Kyoto University, Japan
10.	January	Jana ELLEGAST	Acute myeloid leukemia	Assistant Professor, Department of Medical Oncology and Hematology, The University Hospital Zurich, Switzerland
11.	February	Greg WANG	Epigenetics	Professor, Department of Pharmacology and Cancer Biology, Duke University, USA
12.	March	Els MANSELL	HSC	Assistant Professor, Hematology Erasmus University Rotterdam, Netherlands

注意: 3つのセミナーから8回以上聴講し、かつ、聴講したセミナー1回に関して、セミナー内容に関する1200~2000字程度のレポートを当該セミナーの世話講座の教授(代表者)に1ヶ月以内に E メールで提出してください。添付ファイルで提出する際には、受け取り側が開けない場合もありますので、メール本文中にも同じ内容を記載してください。なお、教員に提出するときは、必ず医学事務チーム教務担当(ivg-igaku-3@jimu.kumamoto-u.ac.jp)宛にも送信してください。セミナーでは毎回、会場入口で出席を確認します。(カードリーダーを使用しますので必ず学生証を持参してください。)

※国際先端医学セミナーは、英語で開催されます。

C2 医科学セミナー（「医学・生命科学セミナー」、「名医に学ぶセミナー」および「国際先端医学セミナー」）レポートの作成要領

3つのセミナーをあわせて8回以上聴講し、かつ、聴講したセミナー1つに関して、セミナー内容に関する1200～2000字程度のレポートを当該セミナーの世話分野の教授（代表者）*に聴講後1ヶ月以内にEメールで提出してください。添付ファイルで提出する際には、受け取り側が開けない場合もありますので、メール本文中にも同じ内容を記載してください。なお、教員に提出するときは、必ず医学事務チーム教務担当（iyg-igaku-3@jimu.kumamoto-u.ac.jp）宛にも送信してください。セミナーでは毎回、会場入口で出席を確認します。（カードリーダーを使用しますので必ず学生証を持参してください。）

*国際先端医学セミナーの場合は、世話分野の教授ではなく、IRCMS(ircms@jimu.kumamoto-u.ac.jp)に送付すること

大学院医学教育部・医科学専攻(修士課程)

「医学・生命科学セミナー」、「名医に学ぶセミナー」および「国際先端医学セミナー」レポート

受講生：学年	学生番号	所属講座	氏名
講演演題名：			
講師：			
講演日時：	年	月	日（曜）
レポート：	以下に1,200～2,000字程度のレポートを記載		

※ このレポート様式は、医学教育部 HP「講義・学位申請等」→「セミナーについて」のページ（<http://www.medphas.kumamoto-u.ac.jp/medgrad/gakunai/seminar/>）からダウンロードできます。